

# 企業説明会 を開催しました。

令和2年7月14日(火)、当センター(西立川)において、住宅リフォーム科に求人をいただいた企業の説明会を実施しました。説明会には、当センターの建築設備科を修了し、3年前に入社した社員の方も同席され、自身の体験や仕事内容などを話されました。



令和2年8月28日(金)、当センター(西立川)において、自動車塗装科及び若年者就業支援科(溶接コース)に求人をいただいた、トラック用リヤボデーの設計・製造・販売をしている企業の説明会を実施しました。修了生である社員2名も同席されました。また、ご用意されたデモカーの小型トラック2台を使っての屋外での説明会となりました。

# 都立多摩職業能力開発センター NEWS LETTER

## 今号の紙面

- 第1面 工作教室 & ものづくり体験講座 を開催しました。
- 第2面 都立多摩工業高等学校 連携事業 / 就職面接会 を開催しました。  
/ 今年度の技能祭は中止いたします。/ 人材アドバイザーがお伺いします。
- 第3面 経営者インタビュー⑩(三英電設株式会社 代表取締役社長 上條 昇一 氏)
- 第4面 企業説明会 を開催しました。/ 新しい就職支援推進員をご紹介します。



## 工作教室 & ものづくり体験講座 を開催しました。

都立多摩職業能力開発センターでは、ものづくりの楽しさ、素晴らしさを実感していただくとともに、公共職業訓練への理解を深めていただくため、小学生向けの工作教室と中高生等向けの実習講座を実施しました。その一部をご紹介します。なお、高校生等向け講座は10月まで予定しています。

### 小学生向け工作教室 (八王子校)

7月26日(日)に八王子校にて、「電気の実験とランプシェードの製作」を実施しました。手回し発電機で発電の仕組みを学んだあと、どれも個性溢れる素敵なランプシェードができました。



(電気設備管理科)

### ものづくり体験講座

中高生等向け

センター(西立川)では8月に7科で9講座を実施しました。八王子校は9月に3科で5講座、府中校は9月、10月に2科で4講座を実施します。



### 求人申込方法

求人票に必要事項を記入の上、当該科目を設置している、多摩職業能力開発センター(西立川)、八王子校、府中校へFAX又は郵送でお申込みください。

求人票の書式は、多摩職業能力開発センター(西立川)・各校HPの「書式ダウンロード」からダウンロードしてご利用ください。

### 求人は 就職支援推進員へ

都立多摩職業能力開発センター・校では、就職支援推進員が、企業の皆様からの求人を受け付け、ご相談に応じ、生徒に紹介しています。

### 新しい 就職支援推進員をご紹介します。

竹村 就職支援推進員(府中校)



民間企業で長く人事採用教育のお手伝いをさせていただいておりました。

その経験を活かして求人企業と生徒さんのマッチングにお役に立てればと思っています。「会社には良い人材を、人には良い仕事を」をモットーとしております。

### お問い合わせ

〇都立多摩職業能力開発センター(西立川) 042-500-8700(代)

たましょくぎょう 検索

〇都立多摩職業能力開発センター八王子校 042-622-8201(代)

たましょくぎょう八王子 検索

〇都立多摩職業能力開発センター府中校 042-367-8201(代)

たましょくぎょう府中 検索

### イメージキャラクター



令和2(2020)年9月20日発行 都立多摩職業能力開発センター 人材育成課 技能担当

★ たまねじくんは、「多摩」とものづくりの「ネジ」からなる、多摩職業能力開発センターのイメージキャラクター♥ 「ネジ」だけに、「技能と人」、「人と仕事」をガッチリとつなぎます!  
★ たまねじくんは商標登録しています。

東京都では、就職の機会均等を確保するために、本人の適性と能力に基づく公正な採用選考を実施するよう事業主の皆様のご理解とご協力をお願いしています。詳細は、<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/kaizen/kosei/> をご覧ください。



▲自動車ドアパネルの塗装体験 (自動車塗装科)

▲リレーを用いた簡単な電気制御にチャレンジ! (電気制御基礎養成科)

▲こけ玉作り体験 (造園土木施工科)



## 都立多摩工業高等学校 連携事業



当センターは、東京都立多摩工業高等学校と、平成30年度からものづくり人材育成について協定を交わし、当センター見学会・説明会開催や、同校生徒の実習体験受入れ、企業体験発表会の会場提供等様々な連携事業を行っています。

今年度は、感染症の影響で企業体験実施が困難になっている同校第2学年の生徒さんを対象に、7つの科に分かれて実習体験をしています。

10月15日（木）までに3回実施する予定です。

## 就職面接会 in 都立多摩職業能力開発センター を開催しました。

令和2年9月11日（金）、当センター（西立川）において、全年齢対象の就職面接会を開催し、当センター・校生徒及び一般求職者の46名が参加しました。参加者は、書類選考なしで複数の企業と面接を受けられます。

主に多摩地域の製造業、サービス業、卸売業等20社が、感染症対策のために午前と午後に分かれ、さらに企業ブースや待合席の間隔を空け、参加者は事前予約制で実施しました。求職者は求人票を確認しながら、希望する企業ブースで各社人事担当者との面談に臨みました。



お知らせ **今年度の技能祭は中止いたします。**



**人材アドバイザー がお伺いします。**

毎年10月下旬（センター）・11月3日（八王子校・府中校）に開催している「技能祭」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来場者及び関係者の健康や安全面などを第一に考え、**今年度の開催中止を決定いたしました。**

楽しみにしていただきました皆様には、大変申し訳ございません。施設の見学は随時受付しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

人材アドバイザーの藤村です。中小企業の従業員のスキルアップや、センター・各校で職業訓練を受けている生徒への求人について、企業訪問を行い、皆様のご要望、ご相談に応じております。お電話いただければ、貴社にお伺いします。よろしくお祈りします。

人材育成推進担当  
Tel. 042-500-8700



企業の皆様  
はたらく皆様へ

【新型コロナウイルス感染症に対応した支援策】は、東京都産業労働局ホームページに掲載しています。

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/>



## 経営者インタビュー⑩

～人材育成、職業訓練等に関する”ホンネ”を聞く～

このコーナーでは、多摩地域の中小企業の経営者の方々に人材確保・人材育成などについてインタビューした内容の一部を紹介します。

第10回目となる今回は、三英電設株式会社 代表取締役社長 上條 昇一氏 にご登場いただきました。

三英電設株式会社

所在地：東京都八王子市千人町三丁目2番地17号

創業：昭和46年7月

事業内容：電気通信設備工事、情報通信設備工事、  
電気工事などの設計・施工・監理、  
警備事業、一般労働者派遣事業、  
産業廃棄物収集運搬業

従業員数：54名



Q1 採用に当たっては、どのような点を重視していますか。

私が面接で見ているのは「元気かどうか」です。今の時代、面接に来てくれる皆さんは会社のことも面接の受け方も勉強してきていますので、私は敢えて、答えを用意していないようなことを聞いています。

時代に合わせて会社も変わっていかねば生き残れません。元気に答えられるかどうか、変化にどう対応できるか、そこが大事だと思っています。

Q2 採用後の人材育成についてはどのように取り組んでいらっしゃいますか。

安全意識の定着・品質の向上・技術の習得の3本柱で計画的に取り組んでいます。

安全と品質はとても大事なことで各種の研修に参加、また自社における研修実施により“理解”を求めています。技術習得においては国家資格・技能資格など様々な資格を取らないと仕事ができないことから、講習参加等には特に力を入れています。また最初はOJTにより先輩と一緒に仕事を覚えていきます。単独行動が大きな事故につながることから、チーム内の意識の高揚により安全文化の定着に努めます。

普段のコミュニケーション作りからいいチーム作りができると考えています。そのためにも人材育成に力を入れるのは、「技術者として技術を身に付ける」部分、「人格、人となりを育む」部分との両翼で育成に取り組んでいます。

Q3 職業能力開発センターの魅力、期待はどんなところでしょうか。

よい修了生を採用でき、センター・校には感謝しています。働くことの準備、心構えが出来ている人が来てくれます。センター・校は大切なパートナーです。生徒さんを採用することは、指導員の先生や就職支援員さんからバトンが渡されたようなものだと思います。

また、企業説明会に参加し、直接生徒さんたちに話をさせていただいておりますが、今後も、我々の会社を理解してもらえたい機会をたくさん作っていただきたいと思います。

Q4 これからの企業活動について、どのようにお考えですか。

やるからには多摩地域で社会インフラ構築No.1を目指します。電気・電気通信分野で、三英電設なら全て任せられる、そう選んでもらえる企業になることが目標です。

時代が変わっても、1つのことのみやってきた会社は取り残されてしまうところもあります。我々は変化し、様々な要請に応えてきました。これからもその繰り返しです。そのために、様々な壁を乗り越えられる人材を育てたい、だからこそ「元気な人」に来て欲しいと思っています。

上條社長、ありがとうございました！